

## 第13回放送番組審議機関 議事概要

■開催年月日：平成27年4月21日（火）

■開催場所：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 会議室

■Dlife放送番組審議機関審議委員（平成27年4月21日現在）：

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21\_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学 芸術学部映画学科教授）

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

湯川れい子（作詞家・音楽評論家、エッセイスト）

吉田知子（オリコン・エンタテインメント株式会社 取締役兼『オリ★スタ』編集長）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表）

\*あいうえお順、敬称略

■出席した委員（敬称略）

北村みどり（三宅デザイン事務所 代表取締役社長 21\_21DESIGN SIGHT 代表取締役社長）

齊藤裕人（日本大学 芸術学部映画学科教授）

中村伊知哉（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授）

早見優（歌手）

ピーター・バラカン（ブロードキャスター）

四方田浩一（映像メディア総合研究所 代表）

■議題

- ・視聴者からの問い合わせ状況報告
- ・4月 番組改編について
- ・機械式BS視聴世帯数調査について
- ・放送番組の種別の承認（平成26年10月～平成27年3月分）
- ・番組審議（作品紹介とディスカッション、プロモーションの紹介）

< 審査番組 >

「殺人を無罪にする方法」日本語吹替版 第一話

「ラジオな2人」 プロモーション映像

「ラジオな2人」 3月18日放送分

「ラジオな2人」 3月19日放送分

## ■議事概要

○平成24年12月～平成25年3月までに、カスタマーサービスに寄せられた問い合わせ状況の報告。

・入電者の男女比率、年齢層、視聴者からの問い合わせや要望について再放送の要望が高かった放送素材を上映しながら報告し、確認された。

○4月番組改編のポイントを番組宣伝映像を交えながら説明を行った。

ー海外ドラマの新作を集めて放送する土曜日放送枠『サタデーナイト・ドラマ』にて、日本初放送となる「殺人を無罪にする方法」と、人気ドラマシリーズ「メンタリスト」の放送を開始した。

ー平日の19時から20時に、日本のバラエティ番組、ドラマ、アニメーションの30分番組を放送し、幅広い視聴者に向けた放送枠を設けた。

ーディズニー・ファンに向け、最新公開映画「シンデレラ」にちなんだ特別編成の放送や、ディズニーの最新情報の発信を強化、さらに未就学児向けの良質な番組提供を目的とし、従来の平日16時から19時までの3時間に加え、朝の7時から8時にも新たにディズニー番組の帯を設けた。

○4月より新たに導入され、公開されることになった機械式BS視聴世帯数調査について、これまでの調査方法との違いについての説明、また、初週の結果から見られた局としての視聴者層の特徴、人気の高い番組の傾向について報告が行われた。

○放送番組の種別の承認

ー当社より番組放送種別について平成26年4月～平成27年3月分まで6カ月間の各第3週目の実績を説明し、承認された。

※詳細は、ホームページ上に公開。

○委員からは次のような質問、意見・感想が述べられた。

ー機械式BS視聴世帯数調査について、地上波が行っている調査との違い、今回より実施されたBS局で行う調査の特徴について、数値の算出方法と測定方法について、また世帯調査の構成設定について活発な質問があり、それぞれについての説明が行われ理解された。また、将来的に更に精度向上と調査対象が広がる方法があるのではないか？という感想も寄せられた。

ー事前視聴された番組「殺人を無罪にする方法」について、続きが見たくなるような見応えのあるドラマであるとの意見が多数寄せられた。また、邦題のマーケティング戦略が成功していて、わかりやすく認知効果の高い良いタイトルであるとの意見も見られた。

ー事前視聴された番組「ラジオな2人」については、番組宣伝映像が良い、コンビ仲の良い芸人が選ばれている、リラックスして視聴できる番組で、アプリの視聴に適している、先行放送に比

べて出演者が慣れて内容が向上している、また出演者の認知が高いためPRに向いている、といった肯定的な意見が寄せられた。一方で、ラジオ番組をテレビで表現するという番組の性質上、番組構成がより重要になること、またトークの内容を興味深いものにする必要性、これまでのDlifeならではの持ち味を損なうことなく、地上波他局のバラエティ番組と差別化された特徴を打ち出すことの重要性についての意見が寄せられ、今後の参考にするようになった。

一その他に寄せられた意見として、かつて放送され人気を得たバラエティ番組の復活や、ドキュメンタリーを含む音楽番組の放送を検討してはどうかという意見が寄せられ、今後の参考にするようになった。

以上